

【評価対象年度 2021年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	小山ヶ丘学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市小山ヶ丘5-37(小山ヶ丘小学校敷地内) 【開設年月】 2005年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積 399.54㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 171名(2021年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://afterschool.keikokukai.ed.jp/oyamagaoka/		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 景行会	法人番号	9012305000203
指定管理者所在地	町田市藤の台1-1-56		
指定期間	2021年4月1日～2026年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務…余暇・生活・学習・安全指導、おやつを提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務…特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務…施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務…市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
職員の継続的勤務	毎年度	今年度中の常勤・その他の職員とも退職する方はおらず継続的に勤務していた。また、職員達に来年度の意向調査を実施し、来年度等への意見を集めた。
研修参加回数5回以上	毎年度	町田市放課後児童支援員資質向上研修に積極的に参加。平均研修回数が7.3回となり、目標を達成した。
利用者満足度90%以上	毎年度	利用者満足度調査を1月に実施。「保護者が感じる満足度」が95.5%になり、目標を達成出来た。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体に関しては95%以上、サービス・施設管理面に関しては90%以上の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。 また、利用者満足度調査回収率は90%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断でき、加えて、前述の高い満足度の根拠として高い精度であると言える。 研修の平均受講回数は7回を超えており、職員の能力向上への取り組みは、要求水準を満たしていた。 その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、全体的に要求水準を満たした運営を行っていると判断し、総合評価を「B」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	・社会福祉法人景行会の施設運営理念に則り、児童一人一人の人権を守り、また、人としての尊厳を大切に保育と、豊かな人格形成を目標にした活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、消毒の徹底・おやつ時に交代制の導入を取り入れた。 ・今年度は、提案内容の3項目全て目標を達成出来たが、満足度調査の保護者が感じる満足度は、95.5%と概ね好評だったが、イベントの少なさの不満が2票あり、コロナ禍での過ごし方で改善すべき点があったと痛感した。 ・昨年度までの課題だった職員の雇用に関して、今年度は継続的な雇用があり、保護者・児童に安心感を与えた。 ・新型コロナウイルス感染症を注意しながら保育を行い、地域のサッカー大会(ポケット、小山中央、小山)を例年通り実施した。また、社会貢献事業として、11月に近隣の落ち葉掃きを実施した。 ・自然体験として、学童の裏手にサツマイモ畑を作り、苗植えから収穫までを体験し、収穫したサツマイモで蒸しパンを手作りおやつとして提供した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度もお別れ遠足の中止をしたが、思い出DVDを作成し保護者からも好評だった。	

【評価対象年度 2021年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2022年1月7日～1月21日(15日間) 【登録児童数】 147名(調査月1日時点) 【配布枚数】 147枚 【回答数】 134枚 【回収率】 91.2% 【調査方法】 (配布方法)お便りと一緒に配布・お便りにオンラインアンケート実施を記載 (回収方法)アンケート用紙を回収箱による回収及びオンラインでの回収
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	95%	95.5%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	95	95	95	95	95
実績値	95.5				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	95%	93.3%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	95	95	95	95	95
実績値	93.3				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	5回	7.3回	B	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
目標値	5	5	5	5	5
実績値	7.3				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	利用者満足度において75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は5回を超えており、職員の能力向上への取り組みは要求水準以上であった。職員の資質向上については、一定以上取り組んでいると判断できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2021年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	「学童保育クラブ入会のおしおり」及び「児童ケース記録」等により、保護者・利用者への平等な取扱いを確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	「おたより」及び「ホームページのコピー」により、保護者への情報提供を状況を確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	「年間計画」及び「実施報告書」により、事業を適切に実施していることを確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	毎月「育成日誌」を、半期に1度「育成記録」を、各期日までに提出していた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	「点検マニュアル」等により適切に点検を実施していることを確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	「景行会 個人情報保護規程」等により、個人情報保護体制が整備されていることを確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	「個人情報に関する文書等管理規則」により、情報公開体制が整備されていることを確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	「苦情処理及び担当業務規定」により、苦情対応の体制が構築されていることを確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	「安全管理マニュアル」等により、緊急時・災害時対応手順が整備されていることを確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	「育成日誌」により、火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	「安全管理マニュアル」等により、病気や事故に対する対応手順が整備されていることを確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	「育成日誌」及び「シフト表」により、適切に職員が配置されていたことを確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	「研修記録」により、年2回以上、職員研修を受講していたことを確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	「事業収支決算書」等により、関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	「事業報告書」等により、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	「事業報告書」等により、地元団体と連携した行事等を実施していたことを確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	「職員調書」等により、市民雇用し、市内業者の利用に配慮していたことを確認した。	適

【評価対象年度 2021年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2022年1月19日に社会福祉法人景行会が管理する藤の台ポケット組学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2022年1月19日に社会福祉法人景行会が管理する藤の台ポケット組学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1)公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2021		2022		2023		2024		2025	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	52,111	40,289	21,215		22,040		22,472		23,181
	特別育成料	400	637	200		200		200		200
	雑収入	24	24	0		0		0		0
	寄付等	0	0	0		0		0		0
	計	52,535	40,950	21,415	0	22,240	0	22,672	0	23,381
支出	人件費	46,927	33,045	14,746		15,515		15,880		16,556
	管理費	1,221	1,024	756		756		756		756
	運営費	1,204	924	430		430		430		430
	精算する経費	1,700	2,626	1,700		1,700		1,700		1,700
	間接経費	1,483	1,464	3,583		3,639		3,706		3,739
	計	52,535	39,083	21,215	0	22,040	0	22,472	0	23,181
総計(収入-支出)	0	1,867	200	0	200	0	200	0	200	0

(2)指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2021	2022	2023	2024	2025
経常利益率	2.1				
負債比率	9.2				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率・負債比率も適正な値であった。